

「地域包括ケアシステム構築」の進捗状況の点検について

○ケアマネジャー調査において下記設問を実施

問：市川市における「地域包括ケアシステム」構築に関する施策の進捗状況について、日頃の業務を通じてお感じになっていることをお伺いします。下記(1)～(9)の項目それぞれについて、選択肢から回答してください。【選択肢】 そう思う／どちらかと言えばそう思う／どちらかと言えばそう思わない／そう思わない／わからない

- (1) 多くの住民が自分の強みや興味・関心に沿った社会参加の機会を得て、結果的に健康増進や介護予防につながっている。
- (2) 高齢者がリハビリテーション等を活用しながら出来る限り心身機能や生活行為の回復と維持を図っている。
- (3) 高齢者を含む地域住民が、認知症への理解を深め、認知症の人の発信や意思決定・権利擁護が尊重されている。
- (4) 高齢期の住まいや移動を支える資源の整備・活用に向けた取組が実施されている。
- (5) 高齢者や家族が、望む暮らしに合った介護サービスや生活支援を利用でき、生活を継続している。
- (6) 認知症になっても、その状況に応じた適時・適切な医療・介護サービスを利用でき、生活を継続できている。
- (7) 高齢者が、普段の生活の中で療養を継続でき、入退院があっても切れ目のないケアを利用でき、生活を継続している。
- (8) 本人の希望に応じた療養から看取りへと続く体制を整え、提供できている。
- (9) 行政を中心に、高齢者サポートセンターや地域の関係機関が連携し、分野横断的なマネジメントが実施できている。

強み



課題

